

4:12 兄弟たち、あなたがたに願います。私もあなたがたのようになったのですから、あなたがたも私のようになってください。あなたがたは私に悪いことを何一つしていません。

4:13 あなたがたが知っているとおりに、私が最初あなたがたに福音を伝えたのは、私の肉体が弱かったためでした。

4:14 そして私の肉体には、あなたがたにとって試練となるものがあつたのに、あなたがたは軽蔑したり嫌悪したりせず、かえって、私を神の御使いであるかのように、キリスト・イエスであるかのように、受け入れてくれました。

4:15 それなのに、あなたがたの幸いは、今どこにあるのですか。私はあなたがたのために証ししますが、あなたがたは、できることなら、自分の目をえぐり出して私に与えようとさえしたのです。

4:16 それでは、私はあなたがたに真理を語つたために、あなたがたの敵になったのでしょうか。

4:17 あの人たちはあなたがたに対して熱心ですが、それは善意からではありません。彼らはあなたがたを私から引き離して、自分たちに熱心にならせようとしているのです。

4:18 善意から熱心に慕われるのは、いつでも良いことです。それは、私があなたがたと一緒にいる時だけではありません。

4:19 私の子どもたち。あなたがたのうちにキリストが形造られるまで、私は再びあなたがたのために産みの苦しみをしています。

4:20 私は今、あなたがたと一緒にいて、口調を変えて話せたらと思います。あなたがたの

ことで私は途方に暮れているのです。

パウロにとっては、ガラテヤ教会の人々が本当の福音すなわちキリストの十字架による救いを受け入れたときはすばらしい喜びでした。彼らは感動と感謝を持ってパウロから福音を受けたので、そのパウロが目目の病であると知って「自分の目をえぐり出して」与えたいとさえ思ったのでした。

神の救いの愛を解した愛情は強く純粋なものです。永遠の命のために神様が遣わしてくださった人に感謝し、愛し、常に喜びを分かち合ひましょ

う。

しかし、そのガラテヤの人々は今や、間違つた福音すなわち律法による救いを教える人々の熱心に、つられて惑わされてしまいました。律法によるということは、その動機がイエス様への愛ではなく、義務感からやっているということです。ですから「あの人々の熱心は正しいものではありません。」ということになるのです。

もしもキリストの愛と犠牲による福音によって救われた私たちが、自分の努力や能力で救われたようなことを言ったり、またはそれで成長しようと思うなら、ここでパウロが言うような苦しみをイエス様にも与えていることを知るべきです。

主の愛の中で聖霊によって、救いを確信し全うし、成長し、用いられていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

